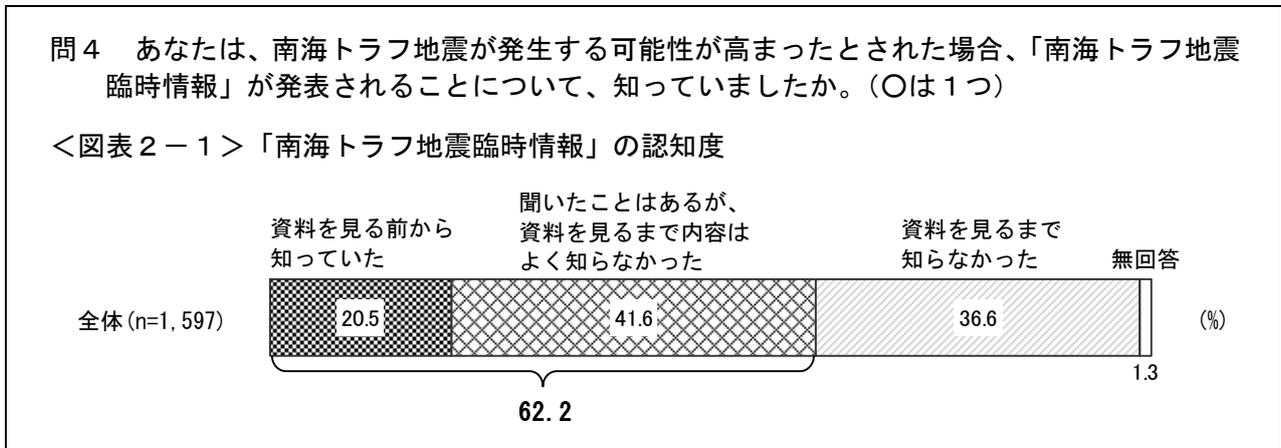


## 2 大規模地震に関する気象庁からの情報について

### (1) 「南海トラフ地震臨時情報」の認知度

◇『聞いたことがある（計）』は6割を超える



「南海トラフ地震臨時情報」の認知度を聞いたところ、「資料を見る前から知っていた」(20.5%)と「聞いたことはあるが、資料を見るまで内容はよく知らなかった」(41.6%)を合わせた『聞いたことがある（計）』(62.2%)は6割を超える。

一方、「資料を見るまで知らなかった」(36.6%)は3割台半ばとなっている。(図表2-1)

#### 【地域別】

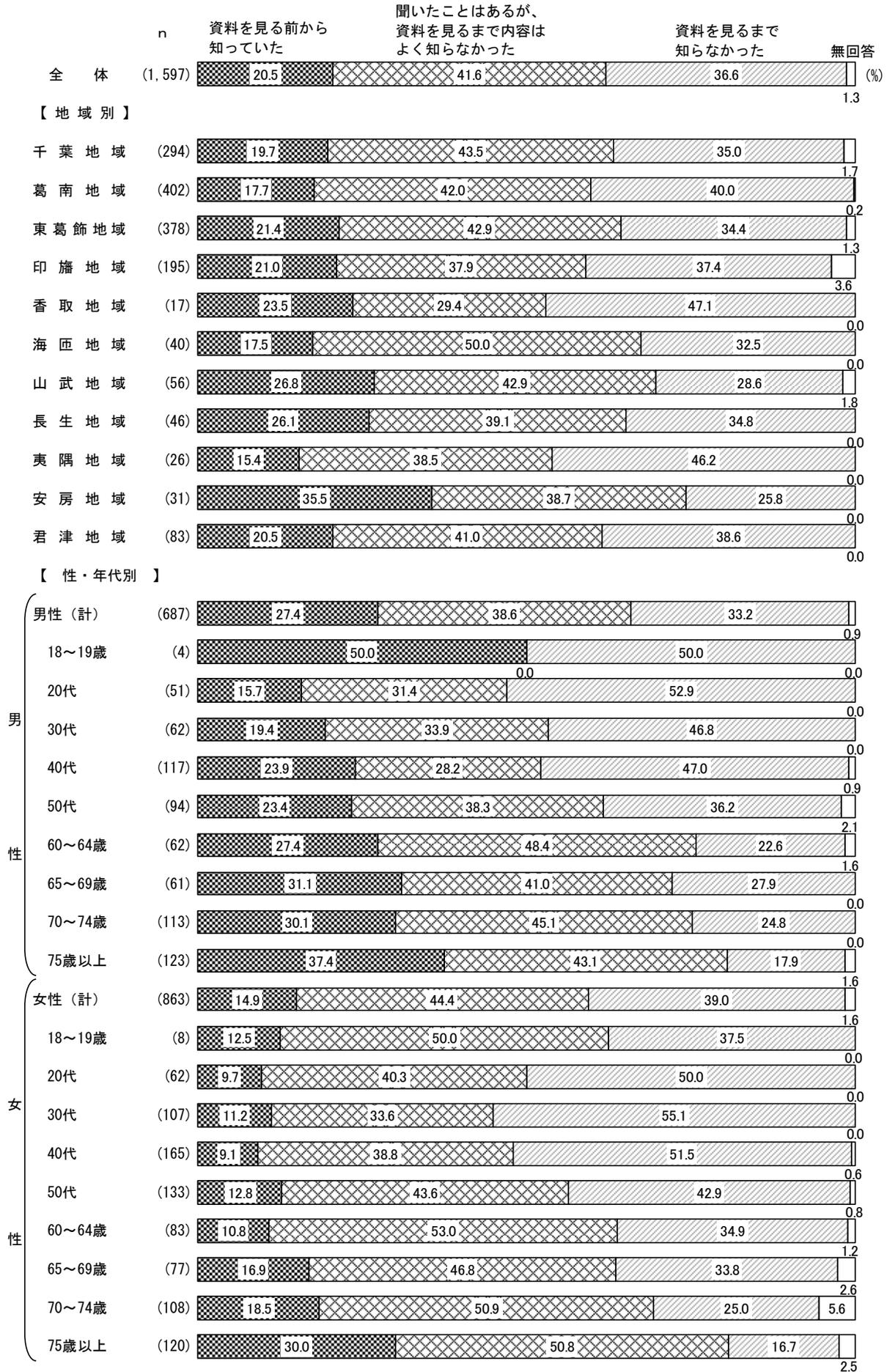
地域別にみると、「資料を見る前から知っていた」は“安房地域”(35.5%)が3割台半ばで高くなっている。(図表2-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は、女性の75歳以上(80.8%)と男性の75歳以上(80.5%)が8割、男性の60～64歳(75.8%)と男性の70～74歳(75.2%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、「資料を見るまで知らなかった」は、女性の30代(55.1%)が5割台半ば、男性の20代(52.9%)と女性の40代(51.5%)が5割を超え、女性の20代(50.0%)が5割、男性の40代(47.0%)が約5割で高くなっている。(図表2-2)

＜図表2-2＞「南海トラフ地震臨時情報」の認知度／地域別、性・年代別



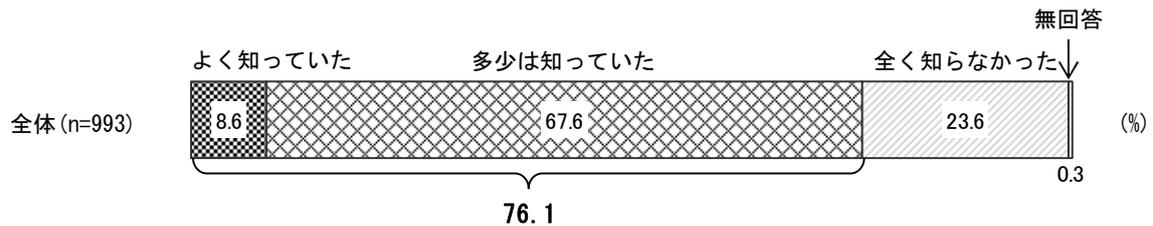
## （1－1）「南海トラフ地震臨時情報」の意味やとるべき行動の認知度

◇『知っていた（計）』は7割台半ば

（問4で「資料を見る前から知っていた」または「聞いたことはあるが、資料を見るまで内容はよく知らなかった」とお答えの方に）

問4－1 あなたは、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」や「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」について、それぞれのレベルの意味や発表された際にとるべき行動を知っていましたか。（○は1つ）

＜図表2－3＞「南海トラフ地震臨時情報」の意味やとるべき行動の認知度



「南海トラフ地震臨時情報」を聞いたことがあると回答した993人を対象に、その意味やとるべき行動の認知度を聞いたところ、「よく知っていた」（8.6%）と「多少は知っていた」（67.6%）を合わせた『知っていた（計）』（76.1%）は7割台半ばとなっている。

一方、「全く知らなかった」（23.6%）は2割台半ばとなっている。（図表2－3）

### 【地域別】

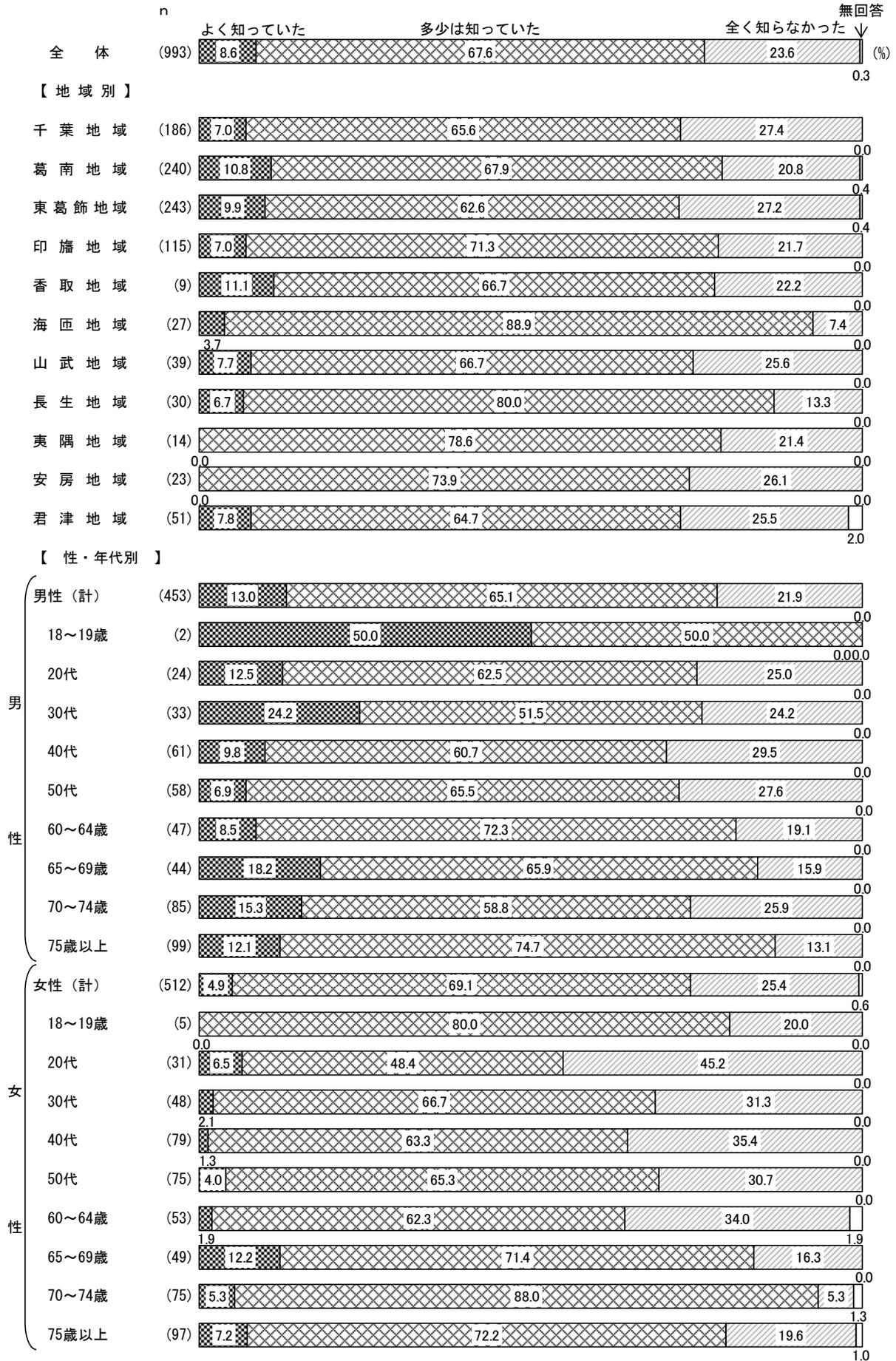
地域別で大きな傾向の違いは見られない。（図表2－4）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っていた（計）』は、女性の70～74歳（93.3%）が9割を超え、男性の75歳以上（86.9%）が8割台半ばで高くなっている。

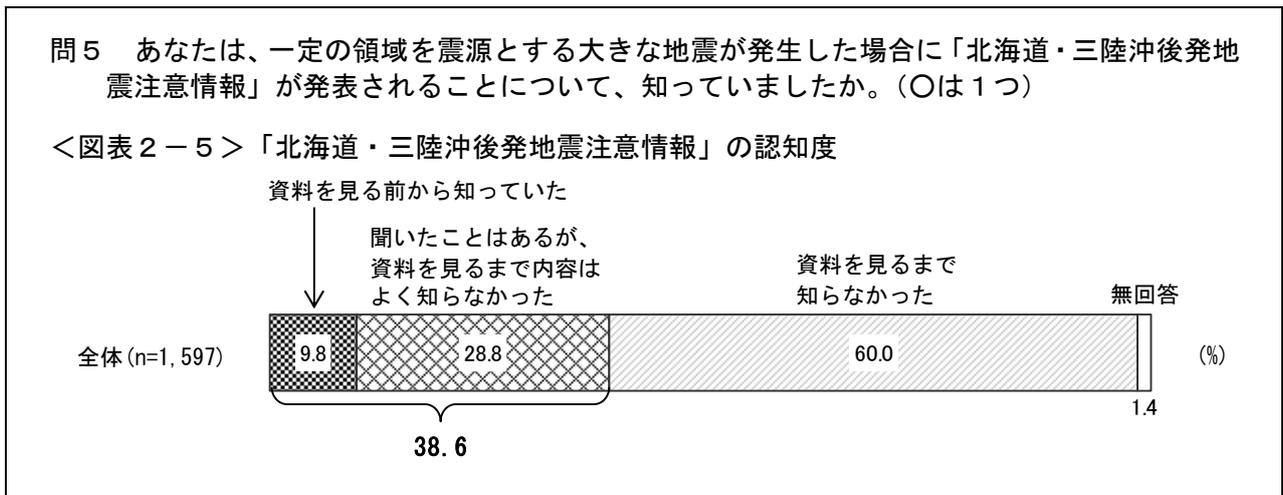
一方、「全く知らなかった」は、女性の20代（45.2%）が4割台半ば、女性の40代（35.4%）が3割台半ばで高くなっている。（図表2－4）

<図表2-4> 「南海トラフ地震臨時情報」の意味やとるべき行動の認知度／地域別、性・年代別



## （2）「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の認知度

◇『聞いたことがある（計）』は約 4 割



「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の認知度を聞いたところ、「資料を見る前から知っていた」（9.8%）と「聞いたことはあるが、資料を見るまで内容はよく知らなかった」（28.8%）を合わせた『聞いたことがある（計）』（38.6%）は約 4 割となっている。

一方、「資料を見るまで知らなかった」（60.0%）は 6 割となっている。（図表 2-5）

### 【地域別】

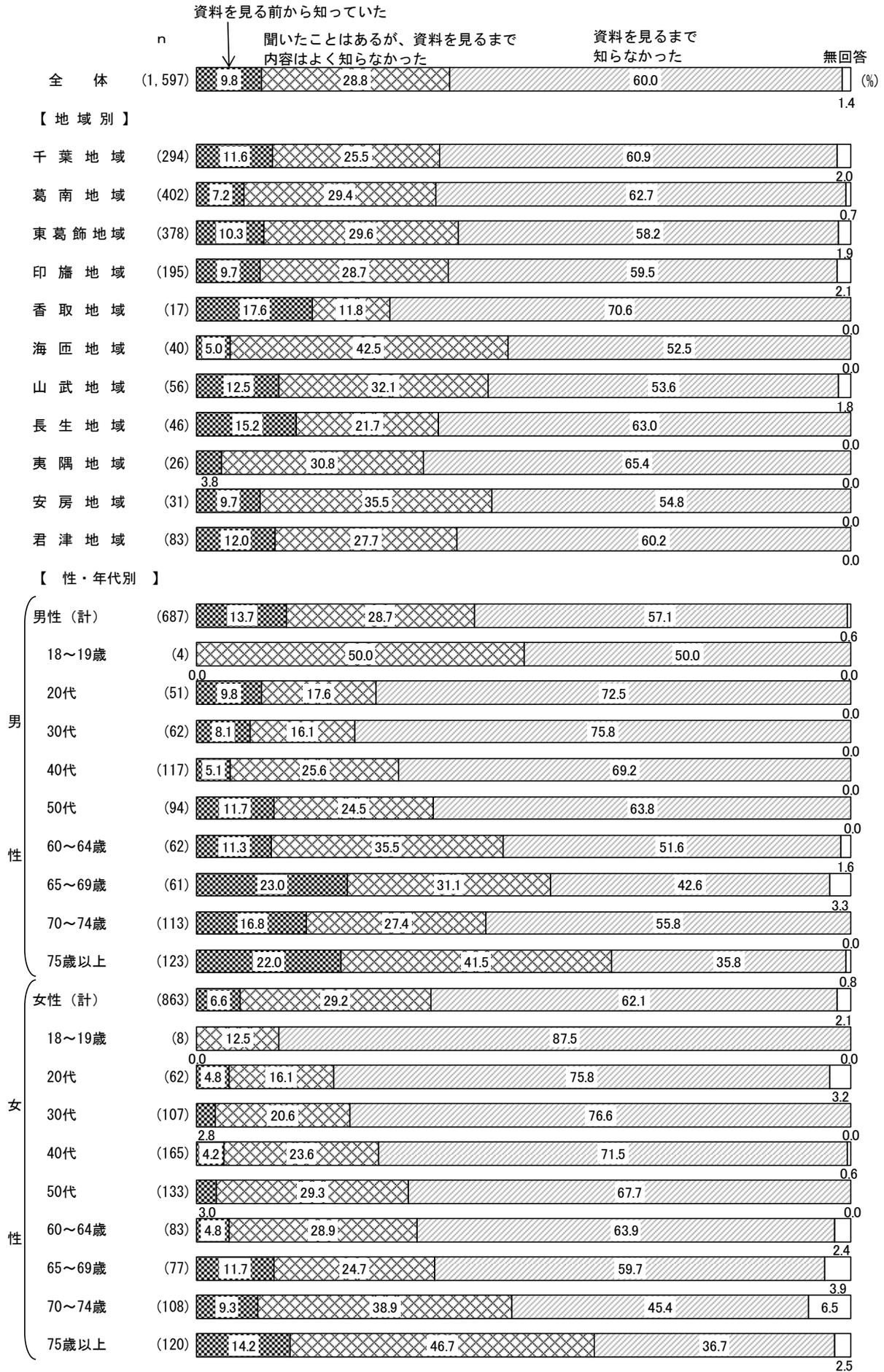
地域別で大きな傾向の違いは見られない。（図表 2-6）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は、男性の 75 歳以上（63.4%）が 6 割を超え、女性の 75 歳以上（60.8%）が 6 割、男性の 65～69 歳（54.1%）が 5 割台半ば、女性の 70～74 歳（48.1%）が約 5 割で高くなっている。

一方、「資料を見るまで知らなかった」は、女性の 30 代（76.6%）、男性の 30 代（75.8%）、女性の 20 代（75.8%）が 7 割台半ば、女性の 40 代（71.5%）が 7 割を超え、男性の 40 代（69.2%）が約 7 割で高くなっている。（図表 2-6）

<図表2-6> 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の認知度／地域別、性・年代別



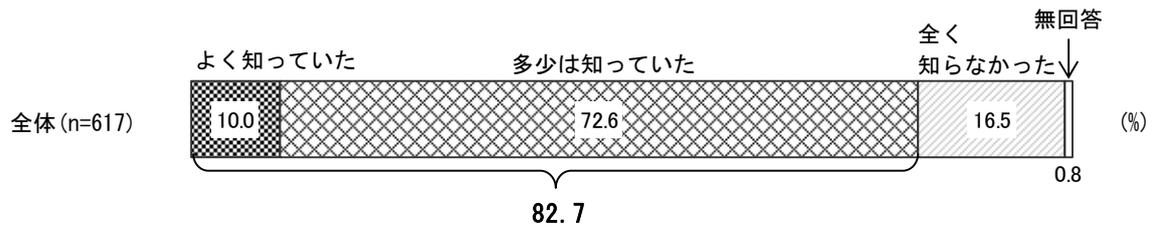
（2－1）「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の意味やとるべき行動の認知度

◇『知っていた（計）』は8割を超える

（問5で「資料を見る前から知っていた」または「聞いたことはあるが、資料を見るまで内容はよく知らなかった」とお答えの方に）

問5－1 あなたは、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について、意味や発表された際にとるべき行動について知っていましたか。（○は1つ）

＜図表2－7＞「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の意味やとるべき行動の認知度



「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を聞いたことがあると回答した617人を対象に、その意味やとるべき行動の認知度を聞いたところ、「よく知っていた」(10.0%)と「多少は知っていた」(72.6%)を合わせた『知っていた（計）』(82.7%)は8割を超える。

一方、「全く知らなかった」(16.5%)は1割台半ばとなっている。(図表2－7)

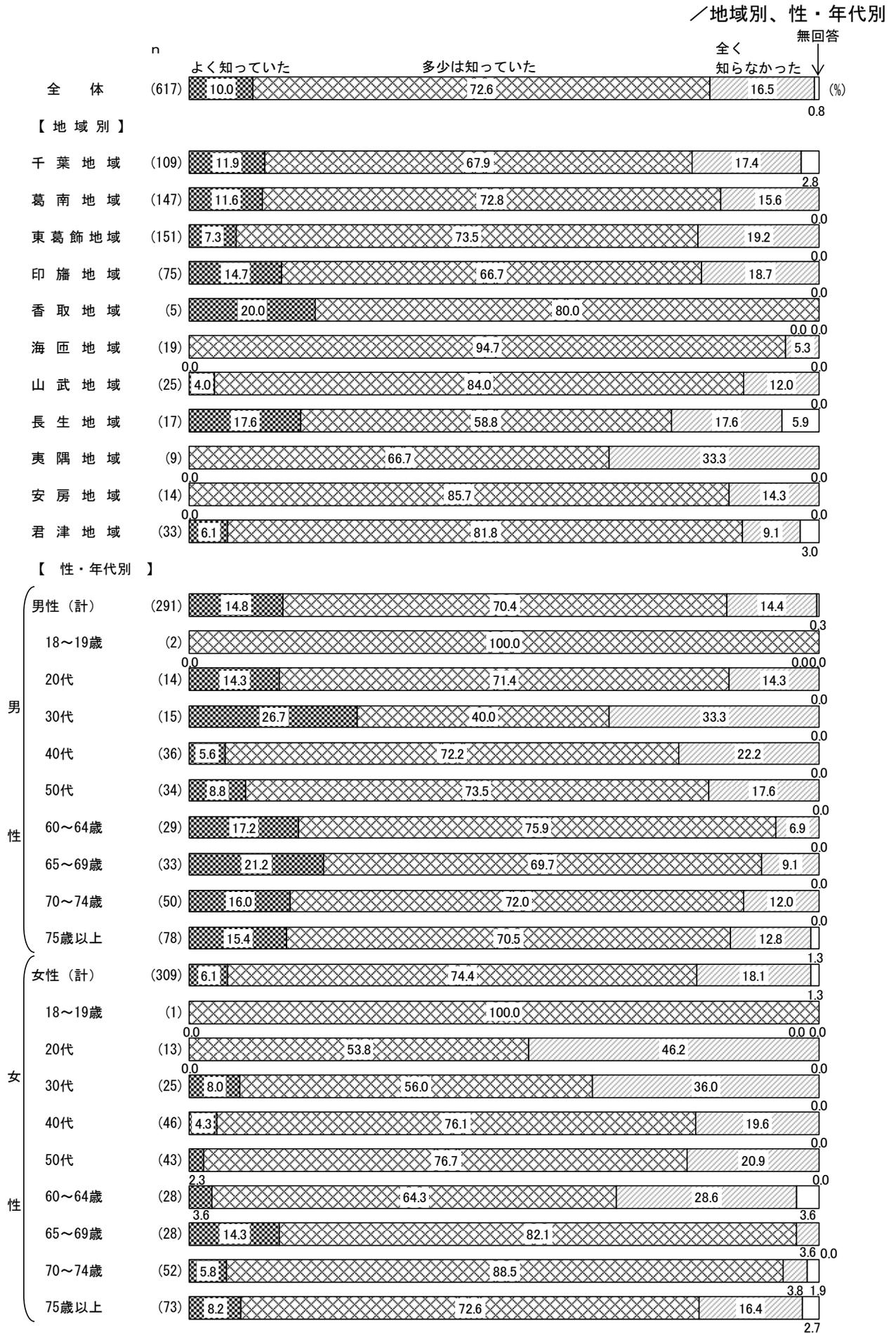
【地域別】

地域別で大きな傾向の違いは見られない。(図表2－8)

【性・年代別】

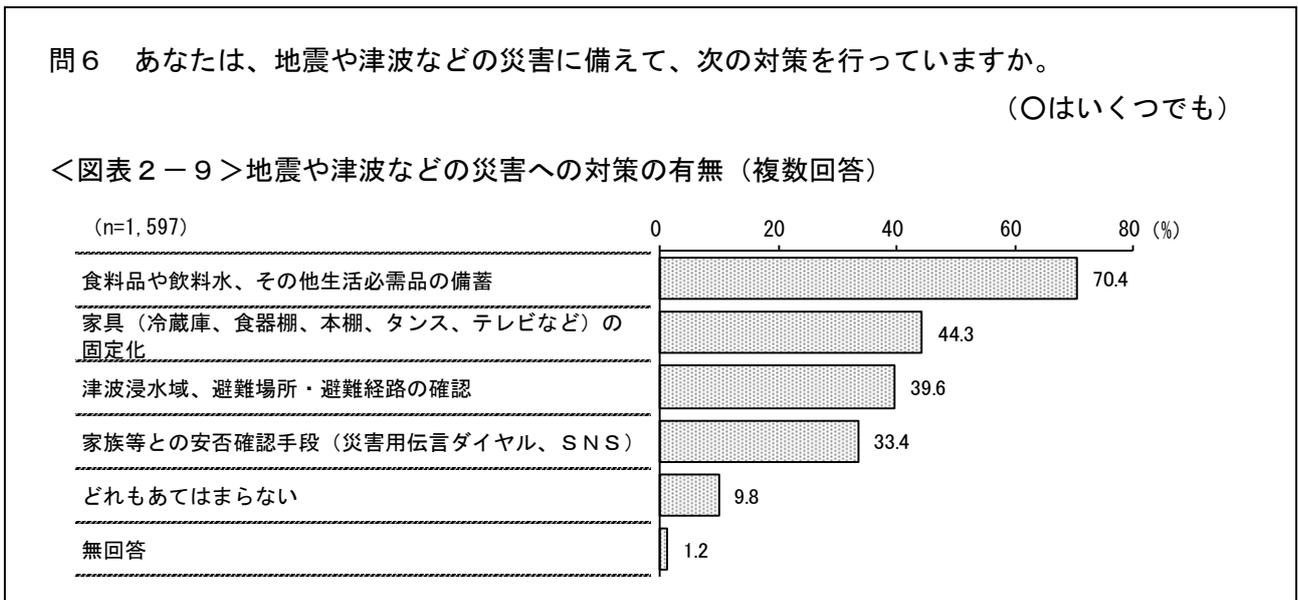
性・年代別にみると、『知っていた（計）』は女性の70～74歳(94.2%)が9割台半ばで高くなっている。(図表2－8)

<図表2-8> 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の意味やとるべき行動の認知度



### （3）地震や津波などの災害への対策の有無

◇「食料品や飲料水、その他生活必需品の備蓄」が7割



地震や津波などの災害への対策の有無について聞いたところ、「食料品や飲料水、その他生活必需品の備蓄」（70.4%）が7割で最も高く、以下「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（44.3%）、「津波浸水域、避難場所・避難経路の確認」（39.6%）、「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS）」（33.4%）が続く。（図表2-9）

#### 【地域別】

地域別にみると、「津波浸水域、避難場所・避難経路の確認」は“海匠地域”（55.0%）が5割台半ばで高くなっている。

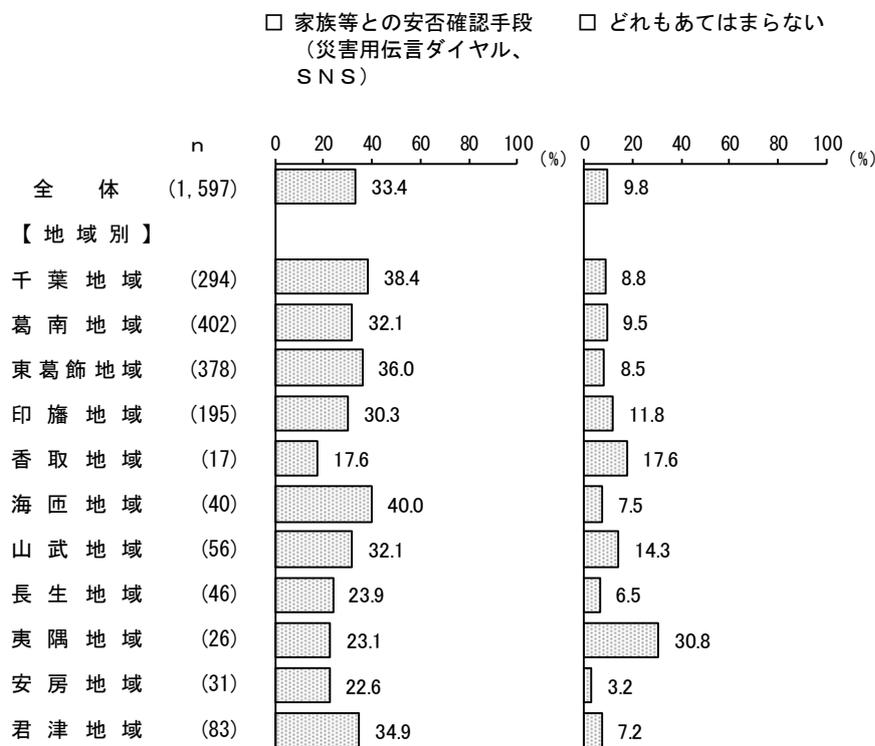
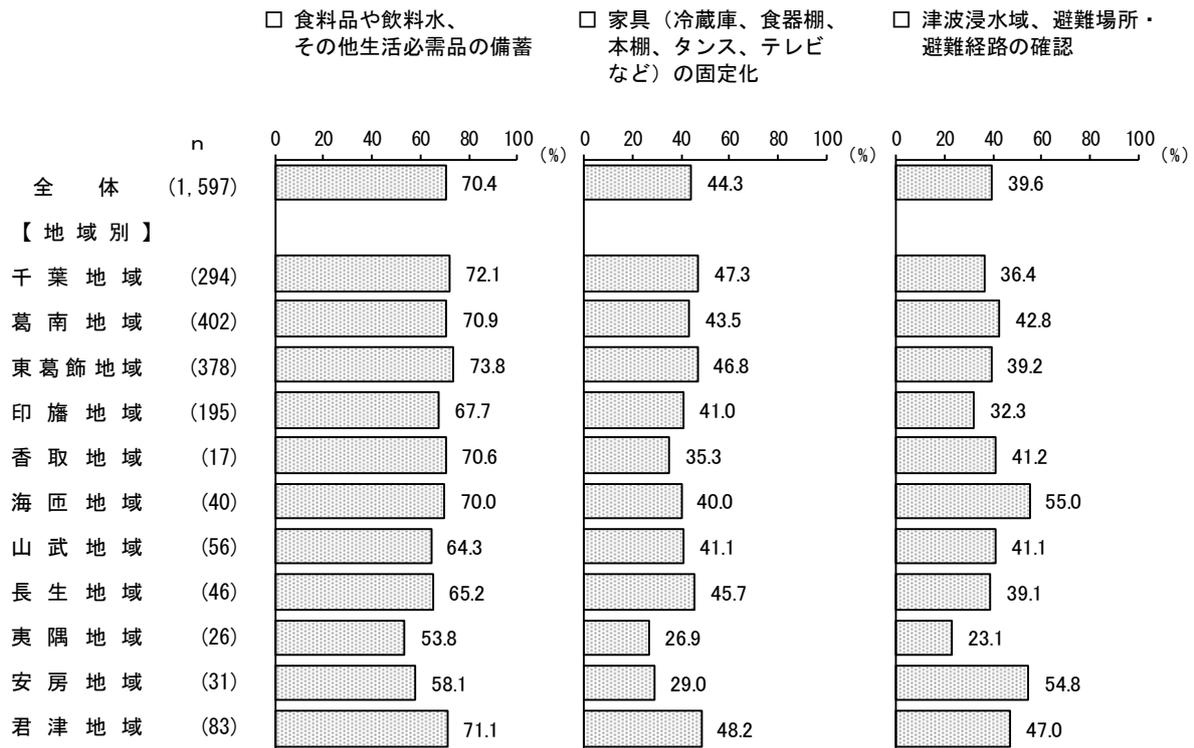
「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS）」は“千葉地域”（38.4%）が約4割で高くなっている。（図表2-10）

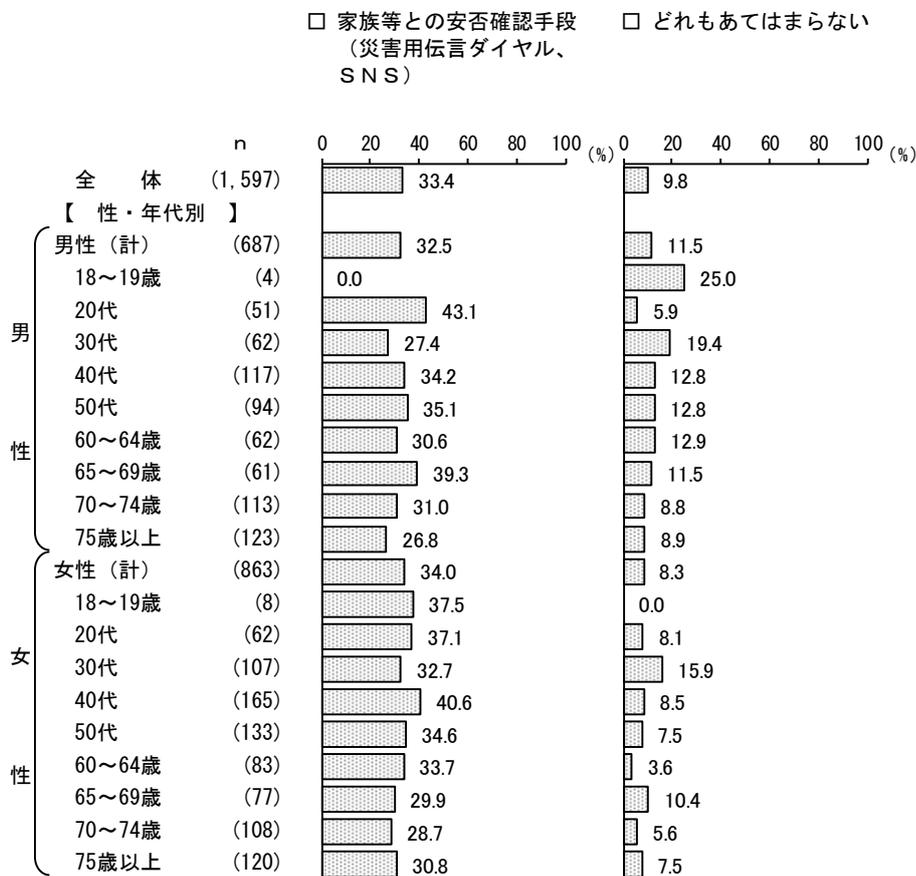
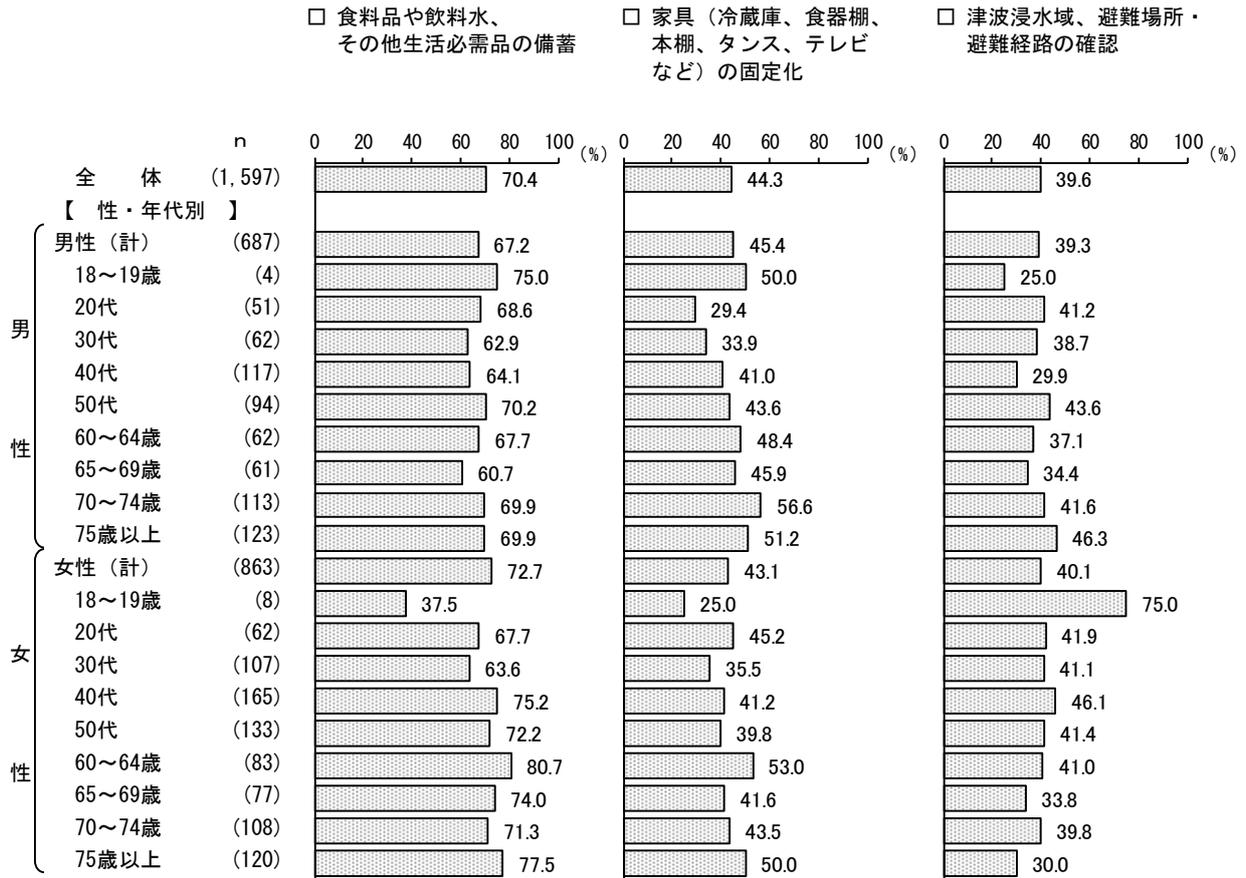
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「食料品や飲料水、その他生活必需品の備蓄」は、女性60～64歳（80.7%）が8割、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は、男性の70～74歳（56.6%）が5割台半ば、「家族等との安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、SNS）」は、女性の40代（40.6%）が4割で高くなっている。（図表2-10）

<図表2-10>地震や津波などの災害への対策の有無（複数回答）

／地域別、性・年代別（上位5項目）





このほかにも、「大規模地震に関する気象庁からの情報について」や問4～問6について、ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、169人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「大規模地震に関する気象庁からの情報について」の自由回答（抜粋）

- 後発地震注意情報や地震臨時情報は身の安全に関わる大切な情報。もっと広く知ってもらえるような方法での情報発信を望みます。  
(女性、70～74歳、山武地域)
- 備蓄と言っても、どの程度、およそ何日分用意したら良いか、どの位で救援物資が届くのか知りたいです。  
(男性、20代、海匠地域)
- 定期的に備えを確認しなければと思いながら忘れがちになるので、何かきっかけになるようなよびかけのようなものがされるとありがたいです。  
(女性、30代、印旛地域)
- 家でのダンボールトイレ等の対応がまだ出来ていない。人口、家が多い地区なので避難所が集中すると思われる為、まずは自宅で1週間程度を考える。  
(男性、70～74歳、千葉地域)
- 大規模地震でテレビもネットも使えない状況だと、ラジオくらいしか情報を集める手立てが思いつきません。うちのラジオ、ちゃんと動くか確認しておこうと思います。  
(女性、50代、山武地域)
- 警報が色々出るが本当に大事な警報の判断が難しい。下手に避難するために外出するより家の2Fで待機する方が安全だと感じる。  
(男性、30代、葛南地域)
- 常日頃から怪我をしないような家具の配置を頭に入れて行動しやすい流れを考えている。天気予報や天気図を覚えておくことも大切かなと思う。  
(男性、75歳以上、東葛飾地域)
- 各世帯向けに津波浸水域や避難場所、とるべき行動をまとめたガイドブック（簡易冊子 ※子供（小学生）でもわかる）を配付して欲しい。  
(男性、40代、葛南地域)
- X（twitter）の情報は、流れてきたら読むと思います。TVや新聞よりかは親近感があります。  
(女性、18～19歳、東葛飾地域)
- 地域での訓練をしっかりとすべきだと思います。（コロナ等でなかったため）お年寄りの方が  
多い地域では、市の役員の方や自治体で訓練を実施していくべきだと思います。  
(女性、30代、印旛地域)